委員会の行政視察報告　～先進地を視察しました～

市民文教委員会

吹田市議場にて

11月 6日　兵庫県尼崎市　あまっ子方針
11月 7日　大阪府吹田市　インクルーシブ教育・特別支援教育推進事業

吹田市では、児童生徒が障害の有無によって分け隔てられることなく、必要な支援の下で共に学ぶことのできる仕組みの充実に向けて、さまざまな施策を行っています。子どもの多様性を尊重できる教職員を育成するための継続的な研修や、研究推進校による公開授業などを実施しているほか、市と東京大学大学院教育学研究科が連携協定を締結し、教育プログラムや学びの場などを共同開発することによって、「障害の社会モデル」[⑰]の視点を子どもたちが持つことを目指しています。

インクルーシブな学校づくりを進めるとともに、教育を起点としてインクルーシブな市の形成を目指す取り組みは、大変参考になりました。

⑰障害の社会モデル：「障害」は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である、とする考え方。

政策課題調査特別委員会

越谷市第１委員会室にて

あま市議場にて

11月　9日　埼玉県越谷市　新庁舎建設事業
11月 10日　埼玉県熊谷市　移住・定住施策
11月 13日　愛知県あま市　本庁舎整備事業
　　愛知県高浜市　本庁舎整備事業

越谷市では、旧本庁舎が老朽化とともに耐震性が極めて低く、大規模地震への対策が喫緊の課題であったことから、「防災・災害復旧の拠点機能を備えた８０年使い続けることができる庁舎」「３４万人市民に親しまれ、来庁しやすく、憩える空間を備えた庁舎」を目指して建設され、３年２月に新庁舎が完成しています。

新庁舎は、広い待合や執務空間に効率よく空調できる床吹き出し空調を採用し、大空間の快適性を確保したほか、長寿命化を支える構造やライフサイクルコストの削減の取り組みなど、今後の本庁舎整備を考える上で大変参考になりました。

また、新庁舎建設事業などの事業実施に伴い発生した課題や問題点について、各市の対応状況を伺うことができました。

（不参加委員：倉橋）

越谷市議場にて

議会だよりの有料広告を募集します!

募集枠　2枠　年４回発行　１枠：年 80,000 円
（１枠１号：20,000 円）

募集期間　令和６年３月１日（金）～29 日（金）

応募方法　令和６年３月１日から豊川市ホームページの「市議会ホームページ」に応募方法を掲載します。申込書等をダウンロードし、必要事項をご記入いただき、議会事務局へご持参ください。また、議会事務局でも申込書等を配布します。

その他　申し込みが募集枠を超えた場合は、豊川市議会だより広告取扱要領に定める順位により、広告掲載者を決定します。詳しくは、市議会ホームページ、または議会事務局（0533-89-2150）までお問い合わせください。